

## 遮光剤シリーズ

### Q3 ホワイト（15L/20Kg）



- ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルムに使用できます。
- 高い遮光率（65%以上）が必要な場合は最も経済的な遮光剤です。
- 低い遮光率では Q4 ホワイトに比べ、降雨による自然剥離があり、2～3 カ月間程度での自然剥離を望む場合に最適です。

### Q4 ホワイト（15L/20Kg）



- ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルム に使用できます。
- 紫外線や雨の影響に最も強く、長期間に渡って遮光効果が持続します。
- 遮光が必要な期間にしっかり遮光を希望する場合に最適です。

詳しい 塗布方法の動画 はこちら ▶



### Q ヒート（13.5L/15Kg）



- ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルムに使用できます。
- 熱線（NIR：近赤外線）を選択的に反射し、光合成に有効な光（PAR：光合成有効放射）は比較的多く透過するため、多くの日射を必要とし、温室内の温度を抑えたい場合に最適です。

### リムービット（20L）



- Qシリーズ（Q4 ホワイト・Q3 ホワイト・Q ヒート）を簡単に、綺麗に剥離する専用除去剤です。
- 遮光シーズンの終わり頃には太陽の角度が低くなり日照時間も短くなるため、作物に多くの光を与えるためにも被覆面に残っている塗布剤を除去することをお勧めします。

Q シリーズは環境に負荷を与える物質を含んでおりませんので、降雨による剥離によって、排水溝へ流出しても環境に問題を引き起こしません。農業用の幅広い被覆材においても、劣化などのダメージを与えることはありません。

販売店

過剰な日射を完全カット

# Q4ホワイト

HERMADIX

THINK  
INNOVATIVE !

  
**royal brinkman**  
global specialist in horticulture



## ● 耐候性に優れた遮光剤

紫外線や雨の影響に強く、長期間に渡って遮光効果が持続します。

## ● 幅広い被覆材に対応

ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルムに吹き付けるだけで目標とする遮光が実現します。

## ● 専用除去剤で簡単に、綺麗に除去

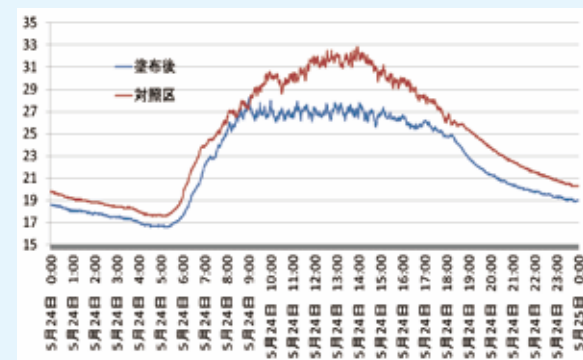
遮光が不要になったとき、専用除去剤（リムービット）で簡単に、綺麗に除去することができます。



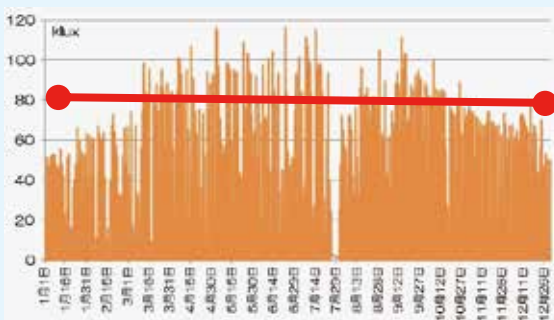
## I Q4 ホワイトの使用目的

夏季の強い直射日光は、葉焼け、花焼け、萎れなど、作物に深刻な悪影響を及ぼします。また、作物がストレスを感じて気孔を閉じることで、光合成が抑制されてしまいます。Q4 ホワイトは温室、ハウスの被覆材に塗付することで、遮光率を自由にコントロールできる画期的な塗付資材です。使用方法是、目標とする遮光率に合わせて【表1】きれいな水に溶かし、乾いたハウス外面に吹き付けてください。10アール当たり1缶の塗付で約40%の遮光率となり、ハウス内気温を3℃～7℃、下げることができます。【図1】作物にはそれぞれ、光飽和点（最も光合成が盛んになる点）【図2】 【表2】があり、それ以上の光では生長点の萎れや葉焼け、果実焼けが発生してしまいます。

【図1】



【図2】



※トマトの光飽和点（80,000Lux）

【表1】

10aあたりの 使用缶数 (水140～200L)	遮光率 (ルクス)	耐用期間	雨への耐久性
34	80%	24- 25週	高
25	75%	22- 24週	高
2	65%	17- 21週	高
1.6	55%	13- 16週	高
1.3	45%	10- 12週	高
1	40%	8- 10週	高

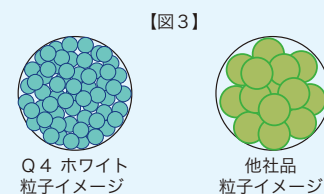
耐用期間は目的とする遮光率を保持する期間の目安です。完全に剥離するのは、1缶/10aの場合で16週前後（降雨量により変わります）が必要です。

【表2】

作目	光飽和点	遮光の必要な期間
トマト	80KLux	4月初旬～10月初旬
キュウリ	55KLux	3月下旬～10月中旬
ナス	40KLux	3月中旬～10月下旬
パプリカ	30KLux	3月初旬～10月下旬
イチゴ	30KLux	3月初旬～10月下旬
キク	50KLUX	3月下旬～10月中旬
バラ	50KLUX	3月下旬～10月中旬
ガーベラ	50KLUX	3月下旬～10月中旬
カーネーション	50KLUX	3月下旬～10月中旬

## II Q4 ホワイトの特徴

ヘルマディックス社（オランダ）が特許を取得した微粒分子バインダー【図3】を使用しているので降雨による自然剥離が均一です。そのため、ハウス内の遮光にムラが少なく、シーズン途中で追加で塗布する必要がありません。



Q4 ホワイト



他社品



## III Q4 ホワイトの使い方

- Q4 ホワイトは春先から秋口までしっかり、遮光を必要とする場合に最適です。
- 【表1】を参考に、目標とする遮光率によって使用する Q4 ホワイトの量を決めます。
- 希釈タンク投入前に原液を棒などで攪拌してください。
- ムラなく塗付するために 10a あたりに 1 缶を 120 ～ 160 L の水に溶かしこみます。高い遮光率を目標とし使用数量が 2 缶及び 3 缶の場合は 160 ～ 200 L に溶かしこみ、ポンプの圧力を上げるようにしてください。
- 塗付するハウス外面が汚れていたり、濡れていると付着が著しく低下するので、晴天時に汚れのない乾いた状態で吹き付けるようにします。また、吹き付け後、速やかに乾かす必要があるため、前後の天候に注意をしてください。(吹き付け後 2 時間で乾きます)

## IV Q4 ホワイトの吹き付け作業方法、ご準備いただく物

- 1 Q4 ホワイト、希釈用タンク、洗浄用タンク、噴霧器、ホース、噴霧ノズル、きれいな水を用意してください。
- 2 Q4 ホワイトを目標とする遮光率(【表1】参照)に合わせ希釈タンクに沈殿が無くなるまで溶かしてください。
- 3 タンク、噴霧器を設置した奥の方から始め手前の方に、小雨状に均一に吹き付けてください。
- 4 吹き付け作業中は沈殿が起こらないよう、タンクを定期的に攪拌してください。
- 5 吹き付け作業が終了したら噴霧器の吸い込み口を洗浄用タンクに移し、5分程度洗い流してください。

※ 吹き付け作業は吹き付けノズル作業者と噴霧機やホースを操作する作業者の 2 名で行います。



### ご準備いただく物



Q4 ホワイト



洗浄用タンク



希釈用タンク



ホース



噴霧器

## V Q4 ホワイトご使用の注意点

- ① 雨水を灌水に利用するために貯水槽を設けている場合は、pH の変化を防ぐため、貯水槽の給水口を締めてください。
- ② ハウス内外の作物にかからないよう、ハウスを閉めるなどの作業を行ってください。
- ③ まわりの住宅、車などにかからないように風の強い日の散布は避け、風向きなどに注意をしてください。
- ④ 4℃以下での作業は避けてください。
- ⑤ 皮膚に直接付着した場合は大量の水で洗い流してください。
- ⑥ 目に直接付着した場合は大量に水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- ⑦ 誤って飲んでしまった場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- ⑧ 防護具を着用することをお勧めします。
- ⑨ 屋外保管は避け、凍結しないようにしてください。( -4℃で凍結のリスクあり)
- ⑩ 結露を防ぐため、散布は日没 4 時間前に完了させてください。